

吹田新選会通信

12月議会報告

神谷 INFORMATION

石川 INFORMATION

TOPIC

新年あけましておめでとうございます。
公職選挙法上、政治家の年賀状は、返
礼を除き禁止されております関係から、この通
信をもって新年のご挨拶とさせていただきます。

■ 今回の個人質問
では、大阪府教育
委員会の打ち出し
た政策に期待をし
、吹田の教育改革
の一翼を府の政策
に委ねるとともに

いくことを述べま
した。また今後、
財政状況が厳しく
なることが想定さ
れますから、町の
開発に当たっては
アンケートなどは

の精神で、子供た
うちに「米百俵」
規の開発が行える
。さらに、まだ新
と主張しました
めていくべきであ
ると主張しました
。さらに、まだ新

お寄せください。
います。ご意見を
いこうと計画して
ど、活動を広げて
私塾の立ち上げな
提言、少年向けの
もりの調査と政策
、不登校や引きこ
障害者の就労支援
、本年は、若者や



吹田市議会議員

かみや ソウヘイ

神谷 宗幣

今後は
議会質
問を教
育に限
定せず
に広く
行って
を工夫し市民ニ
ズを捉えながらし
っかりと選択をし
、開発による利便
性だけではなく、
将来の市民の負担
も事前に開示する
といった方向で進
めていくべきであ
ると主張しました
。さらに、まだ新

ちの学校施設の改
修・改築に予算を
割くよう要望いた
しました。
本年は、若者や
障害者の就労支援
、不登校や引きこ
もりの調査と政策
提言、少年向けの
私塾の立ち上げな
ど、活動を広げて
いこうと計画して
います。ご意見を
お寄せください。

PROFILE

神谷 宗幣(かみや ソウヘイ)：昭和52年 福井県大飯郡高浜町生まれ
福井県立若狭高等学校卒。関西大学在学中に1年間海外をまわり、自分
を含めた今の日本の若者はこれでいいのか、と疑問を抱く。大学卒業後、
高校教師の経験を経て関西大学法科大学院へ進学し、平成19年3月卒業
後、4月の地方統一選挙で吹田市議会議員に初当選。

「変えよう!若者の意識」をキャッチフレーズに、吹田市の教育の充実を目指し活動中!



吹田市議会議員

いしかわ まさる

石川 勝

握って
いるの
です。
今回の
提案も
断力が
カギを
握って
いるの
です。
今回の
提案も
断力が
カギを
握って
いるの
です。
今回の
提案も

組に尽力します。
アップに向けた取
中心とした地域力
み作りや、学校を
支援の新しい仕組
。特に、家庭教育
して参る所存です
【とことん】邁進
も神谷議員と共に
政治の創造に、本
そでできる新しい政
田新選会だからこ
勝だからこそ・吹
治ではなく、石川

PROFILE

石川 勝(いしかわ まさる)：昭和43年 吹田市垂水町生まれ
北千里高校7期生・神戸学院大学法学部卒。24歳の頃より「時代
を創るのは青年の使命である」との思いで「まちづくり運動」に関
わる。主な経歴は吹田青年会議所理事長：豊一小PTA会長：ボランティ
ア実行委員長。「挑戦する勇気・守るやさしさ・創る情熱」を
持って何事も「とことん、やります!」今年の自己目標は周囲を笑
顔にできるような「太陽のような存在」を目指しています。

神谷 宗幣
INFORMATION

神谷は「変えよう！若者の意識」をモットーに本年も様々な活動を提案していきます！

①【TOP POINT】

20～30代のメンバーを集めて、教育、子育て、人材育成について考えます。

②【将志塾】

10代の青少年を集めて、社会情勢や歴史を学びあう中で、それぞれの幹となる将来の志を立てます。

③【親学アドバイザーの養成、組織化】

親が変われば子供も変わる！との思いで、親の気付きや実践を応援します。

④【自然体験活動の推進】

新たな学びの場を提供します。

詳細はホームページで随時報告いたします。

関心をもたれた方は神谷までご連絡ください。

無料

秘密
厳守

予約制

市民まちかど相談所

■開催日：毎週（月）～（金）

相談は何時でも結構です

予約受付は10時～17時

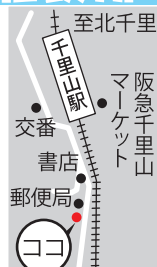
■場所：

千里山行政書士事務所

■お気軽にご予約ください

TEL 06-6385-1230

FAX 06-6385-1239



こんなお悩みございませんか？

- ・ 市政に関する要望・相談
- ・ 子育てや教育のお悩み
- ・ 若者、障害者の就労支援
- ・ 多重債務や金銭、法律トラブル
- ・ 住宅問題、住まい探し

『市民まちかど相談所』では、弁護士、司法書士、行政書士など専門家と連携し、問題解決への助言をさせて頂きま



◆連絡先

自宅：〒565-0821 吹田市山田東4-41 5-814号 TEL/FAX: 06-6567-8750

事務所：〒564-0041 吹田市泉町1-3-40 市役所3F

E-mail: info@kamiyasohei.jp

<http://www.kamiyasohei.jp>

ホームページは、

活動報告や雑感などを

載せ、毎週更新しております。

是非一度のぞいてみてください。

石川 勝
INFORMATION

めざせ
議会改革！

現在、吹田市議会では政治への期待と信頼の確保の為、議会改革に関する議論を深めています。インターネット中継や、政務調査費の取り扱い、議員定数の考え方などに始まり改革すべき事項は多岐に渡ります。変えるべき事は変え、守るべき事は守る。日本中で政治に迷っている時期だからこそチャンスだと捉え、今後も議会改革を推進していきます。ご意見をお寄せください。

就職
サポート！

就職に関する相談は今後更に増えそうです。吹田には独自の恵まれた施設があるのをご存知ですか？

昨年11月にJOBナビ吹田がJR吹田駅前にオープンしました。JOBカフェ吹田とも連携して若者の就職をサポートしています。無料で気軽に立ち寄れる場所です。就職でお困りの方がおられれば是非利用して下さい。詳細はお問い合わせ下さい！

いつでも
市民相談

無料

予約制

最近、市民の方々から相談を受ける機会が増えました。相談者から「こんな相談を議員さんにしても良いかは解りませんが・・・」との言葉をしばしば耳にします。しかし聞いてみると、なぜもう少し早く相談してくれなかったのか？と思うことがあります。生活と政治は深い関わりをもっているの、私はあらゆる相談に対応できるよう心がけています。ご遠慮なく相談を！



◆連絡先

事務所：〒564-0062 吹田市垂水町1-31-22

TEL: 06-6337-7701

E-mail: ishikawa@wish.ocn.ne.jp

FAX: 06-6337-7702

http://blog.livedoor.jp/ishikawa_masaru/



活動報告はブログで！

■新選会通信をお届けします！

新選会通信は、年4回の発行を予定しています。

ご興味のある方は、新選会へご連絡下さい。こちらから郵送させて頂きます。

■ご協力ください

より多くの皆様に、新選会の活動や思いを知って頂くため、新選会通信の配布にご協力頂ける方、お店などに置いてもいいよという方がいらっしゃいましたら、お声がけ頂きたいと思

12月議会報告

「新選会議会質問」と「答弁」の概要

みなさまの「声」を代弁します

市政への要望・不満、行政への質問など、何でもお気軽にご相談ください。（連絡先は裏）

教育（石川 代表質問）

質問 社会全体で支え合う「教育」について

今、日本中で教育に迷っている。教育と言うと学校現場に目が向けられがちだが、教育の原点は家庭にある。親は人生最初の教師であり教育の第一義的責任を負っていることを国民運動として確認する必要がある。家庭教育の崩壊は学校教育の悪化を加速させており、地域教育はもはや混迷状態だ。早期に家庭・学校・地域・行政それぞれが役割を果たせるよう制度の充実を求め以下提案する。①家庭教育を支援する家庭教育アドバイザーを養成する制度を確立されたい。②「学校支援地域本部事業」を積極的に推進し、社会全体で支え合う「教育」制度を確立されたい。

答弁 教育の体制づくりは急務

- ①親学について専門的な知識を持つ家庭教育アドバイザーや親学習アドバイザーの方々に幅広く活躍していただける場を検討していく。
- ②家庭・学校・地域が一体となって子供達を育む体制づくりは急務であり、地域教育協議会を通じて「学校支援地域本部事業」実施に向け調整する。

まちづくり（石川 代表質問）

質問 地域コミュニティの充実に向けて

地域の事務局・拠点機能の強化は地域全体の団体・個人を効率よくネットワーク化できると共に、地域情報を総合管理し効率よく活用していくことで市民活動を大きく推進できる。早期に具体的な強化策に取り組むべきだと提案するが進捗状況と今後の方針を示せ。

また今後の地域コミュニティ推進計画には「教育」のキーワードを盛り込むべきだと考えるが見解を求める。

答弁 活性化に向けさらなる支援を

事務局機能の強化については様々な課題を克服する必要があるので実現に向けて更なる検討を進める。また、地域コミュニティ推進計画の策定にあたっては「教育」のキーワードも盛り込み、更なる活性化に向け支援を進める。

まちづくり（石川 代表質問）

質問 スポーツのメッカ構想を！

本市は健康づくり都市を宣言しており、実際多くのスポーツ施設を有している。今後世界的視野でスポーツのメッカとしても本市をPRしてはどうか？ガンバ大阪・アメリカンフットボール・プロ野球独立リーグなどをはじめ、様々なスポーツを連携させる構想を提案する。

答弁 スポーツ振興施策の充実に努める

万博公園内にはアメフトの球技場・ガンバの関係施設・硬式野球場等が隣接しており、この野球場をホームグラウンドとして、プロ野球の独立リーグのチーム立ち上げ構想も進んでいると仄聞している。一人でも多くの市民がスポーツに関心を持ち、親しめるよう、各種の高度なスポーツイベントにふれる機会の創出が図れるようなスポーツ振興施策の充実に努めていく。

教育（神谷 個人質問）

質問 学校施設の建て替え計画を！

市民意見を代弁して学校施設の整備を要望をしても「耐震工事に費用がかかり建て替えの財源がない」との答えが続くだけ。行政が無理なら市民に協力してもらう。二つ提案する。1つは「ふるさと納税」（寄付）の活用。教育委員会所管で「学校建て替え基金」を作ってもらいたい。しかし、ただ学校を立て替えるということでは、新鮮味もなく寄付も集まらない。そこで、全国的にも類を見ない複合型学校の構想を立ち上げ、全国からユニバーサルデザインの設計図をボランティア公募し、募集・選考の様子をメディアにも発信するというのはいかがか。複合型の学校とは、例えば地域の小学校の施設の中に、児童館や公民館、図書館などが融合しており、お年寄りの多い地域であれば老人センターを併設しても良いかもしれない。施設の管理維持も個別に作るより経済的で、全国的にも面白い施設となるであろう。

もう一つは、来年に給付されるであろう定額給付金を寄付してもらうという方法。本市で給付の対象となるのは約35万人、総額で約53億円が税金から支払われる。私自身や私の周囲では、政府のこうした税金の使い方に疑問を感じており、給付を辞退するという声も聞こえてくる。そうした方々に訴えかけ、先に提案した「学校建て替え基金」を創設し寄付をしてもらう仕組みをつくってほしい。

答弁 （市長）耐震工事が喫緊の課題

補修や改築の必要性がある学校の存在については認識しているが、現在は、喫緊の課題として、校舎や体育館の耐震化に全力を挙げて取り組んでいる。また、定額給付金については、現在、総務省の原案では、生活支援及び地域経済対策が目的であるとされていることから、個々の世帯において、それぞれ活用していただくべきものであると考えている。

市民参画（神谷 個人質問）

質問 幅広い市民ニーズを反映した市政を！

吹田市は、審議会や市民フォーラムなど市民の意見を聞く場を多く設けているが、一部の市民の意見しか吸い上げられていないのでは、と疑問を感じる。広く意見を求めるには無作為の数千人を対象とした市民アンケートが有効と考える。しかし、現行のアンケートでは市民ニーズが計りにくい。箕面市の取り組みを参考に、市の施策を30ほどにまとめ、それぞれについて現状での満足度と今後の充実要請度をきき、グラフにまとめ優先度をきめ、予算配分を考えていくべきではないか。

答弁 調査の方法など研究していく

各施策に対する現在の満足度と今後の重要性について市民の意見を広く聴くことは、市民参画を推進する観点からも重要であると認識しており、今後、市民意識調査を行う中で、調査の方法等について研究・検討していく。

財政（神谷 個人質問）

質問 子供にツケをまわさない！

経済危機で税の減収が予想される中、本市は今後大きなものだけでも、東部拠点・南千里・千里山・南吹田の開発を計画している。これらの開発の費用の概算は？また、小さいところでは、千里山の児童センターや山田の青少年拠点施設などの建設も進めている。それぞれの施設の建設費と耐用年数などから利用を予定している期間の運営費の総額は？

今後ますます財政状況が厳しくなることが想定される中、民主主義の本旨である「均衡財政」を維持するため、もう一度市民の民意を問うことが必要であり、そのための分かり易い「会計報告」をすべきではないか。また、新規建設にあたっては建物もたらず利便性だけではなく、将来の市民の負担も事前に開示すべき。その上で市民から不必要という意見が多ければ建設を見合わせ、必要だという意見が多ければ、必要度の低い古くなった施設を廃止して新しいものを建設する。このようにしていかなければ、均衡財政は維持できなくなり、そう遠くはない未来に財政が破綻する。子供にツケをまわしてはいけない。以上の点を踏まえ、今後の「均衡財政」維持の方策と会計報告のあり方について聞きたい。

答弁 簡素な職員体制、施設の検証

質問の事業見込額は、東部拠点整備事業約58億円、千里南地区センター再整備事業約99億円、千里山駅周辺整備事業約84億円、南吹田地域の事業約127億円。また、（仮称）千里山竹園児童センター建設事業は約4億円、山田駅前の（仮称）青少年拠点施設整備事業は約36億円です。なお、運営費につきましては、運営形態を検討しているところであり、今後精査していく（神谷注：ランニングコストは未定）。

「均衡財政」維持の方策については、簡素で効果的な職員体制の確立を目指し、職員体制再構築計画の策定に向け作業を進めている。また、現在整備されている施設については、運営経費、市民一人あたりコスト等を、ホームページや各施設での掲示により、市民への公表を順次進めている。今後、整備が必要となる施設等についても、重要性や緊急性、効率性等を検証し、今後の財政状況を見極めながら整備していく。

安心・安全（石川 代表質問）

質問 性風俗店の規制について

5月議会で性風俗店等の規制を強化すべきだと提案したところ、答弁では本市において性風俗店並びに歓楽的雰囲気や過度に助長する風俗案内等に関しても、様々な観点から必要ないとの方針を確認した。しかし本市ではそれらに対応する担当窓口が無いので早期に設置すべきだと指摘した。その後、平成20年度12月の大阪府議会において性風俗店等の規制に関する新たな条例が可決され府内全域で規制が強まった。そこで、これを機に本市としては更に出展店舗を規制するなどして規制を強めると共に、まちづくりの方向性を明確にすべきだと考え、特別用途地区の指定を提案する。

答弁 横断的組織で対応を！

吹田市においては府条例により新たに店舗型風俗特殊営業を営むことが禁止されている。また現在では性風俗店の案内所も出店されていないが、府条例の規制から外れるものへの対応も含め庁内の横断的組織を立ち上げ関係団体の意見も含め対応していく。また現在、22年度を目標に用途地域等都市計画の見直しを行っている。その中で用途混在についてあり方を検討していくが、特別用途地区のあり方については他市の先行事例もあるので調査研究していく。